

学校評価表 令和6年度 川地中学校 最終評価（自己評価）

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策・取組	成果指標（目標値） どこまでさせるか：数値	中間達成率	最終達成率	指標分析	評価	結果・課題・取組
信 頼	「社会に開かれた教育課程の展開」	地域連携とコミュニティ小中連携の充実 ＜総務部＞	①学校の情報発信（各種通信の発行・HP更新） ②地域と共に育つ教育内容の創造（地域貢献, 地域保護者への授業参観, ゲストティーチャー活用） ③小中一貫教育の充実	①各種通信月1回以上, HP更新月2回以上 ②保護者アンケートで学校への満足度85%以上（グッドタウン学習・合同防災訓練・サロン交流） ③小中合同で活動を行う	①100% ②106% ③計画通り実施途中	①100% ②99% ③100%	①通信は月1回の発行, HPは月2回以上の更新を実施 ②保護者アンケート学校への満足度84% ③学区運営委員会7回開催, 小中合同研修3回実施。 川地中学校オープンスクール イングリッシュキャンプ 異年齢交流小中合同行事 学区合同研修会（道德）川地小	4	①学校通信10回発行 HP月2回以上の更新を継続して行い, 行事などタイムリーな話題を情報発信することができた。各学年の学級通信も担任の思いや, 学校の様子を発信をすることができた。保護者アンケート「川地中学校の教育活動については, 学校だよりや学級通信などでよく知ることができる。」の肯定的評価・・・96% ②2学期は, 小学校5年生と中学校1年生が行うイングリッシュキャンプで, 地域の方にゲストティーチャーとしてお世話になった。 ③4月から学区運営委員会で, 事前に小中合同研修会の実施の提案と事後の振り返りをしてもらい, 計画的に取組を進めることができた。また, 各部会も必要に応じて開催し取組を進めることができた。
		学校の働き方改革と危機意識の醸成 ＜総務部＞	①各月の在校時間の縮減 ②危機の予測と回避（実効的な不祥事防止研修の実施）	①各月の勤務時間外在校時間45時間未満と職務内容や質の見直し ②不祥事防止研修を年に12回以上	①100% ②100%	①60% ②233%	①4月から1月までの勤務時間外在校時間で月 45 時間未満の教職員の割合は 60%, 職員全体の勤務時間外在校時間を平均にすると 42 時間 37 分である。 ②計画以上に実施 28/12 回（233%）	4	①時間外勤務 45 時間未満の職員の割合は, 4月…38% 5月…54% 6月…62% 7月…54% 8月…100% 9月…54% 10月…31% 11月…46% 12月…77% 1月…85%であった。学校衛生委員会を毎月実施した。定時退校日を意識して計画的に職務を遂行させる。 ②時機を逸することなく不祥事防止研修を行い, 服務規律の確保に努めた。また, 学年に1つテーマを与えて服務研修の企画・実施をした。実効的な研修をすることができた。